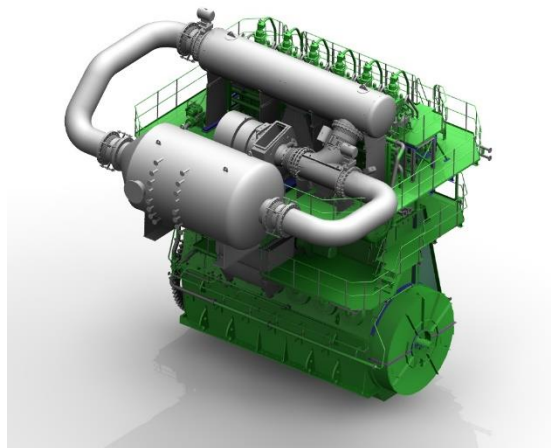


船用 SCR システムの累計受注数が 300 基に到達 ～ NO_x 排出量を削減し、大気汚染防止に貢献 ～

カナデビア株式会社は、このほど、船用エンジンから排出される NO_x（窒素酸化物）を低減する「船用 SCR（Selective Catalytic Reduction：選択的触媒還元法）システム」を受注し、2017年に初号機を受注して以来の累計受注数が300基に到達しました。



【船用 SCR システムのイメージ】

IMO（International Maritime Organization：国際海事機関）は、大気汚染防止の観点から船舶による NO_x の排出規制を段階的に強化しています。NO_x 3次規制※が2016年1月に北米の指定海域で適用され、2021年1月には北海及びバルト海が新たな指定海域に適用されました。また、2025年1月にはカナダ沿岸の北極海域、2026年3月にはノルウェー沿岸の海域も適用が決定されるなど、今後も規制強化が見込まれています。

※IMO が定める船舶航行時の NO_x 排出量削減に関する NO_x 3次規制では、2005年に施行した1次規制（17.0g/kWh）からさらに80%の削減が求められる。

当社の船用 SCR システムは、NO_x を含んだ排ガスに尿素水を噴霧し、脱硝触媒を通過させることで NO_x を窒素と水に分解し、NO_x の排出量を削減します。本製品の主な特長は、以下の通りです。

- ・ 国内外の火力発電所やごみ焼却発電プラントなどの NOx 処理で多くの実績をもつ当社独自の脱硝触媒技術を活用しています。
- ・ エンジンから排出された排ガスに対して NOx を除去処理するため、燃費への影響がほとんどありません。
- ・ NOx を無害化する還元剤に尿素水を用いることで、アンモニアに比べて船内でも安全に運用できます。
- ・ 船用 SCR システムで使用する尿素水は船内で製造可能です。尿素粉を投入後、自動で尿素水を製造する尿素水製造装置をオプションで提供しています。使用状況に応じて適切な量の尿素水を製造でき、運用コストの削減や船内の尿素水貯蔵タンク容量の削減に寄与します。

当社は 2009 年より船舶に向けた SCR システムの開発に着手し、2014 年には船用ディーゼルエンジンのライセンサーである Everllence SE（独）より、世界初の製造供給認証を取得しました。2019 年には従来比で設置面積を約 4 割削減した「船用 SCR システム Mk-II」を販売開始し、多様な船舶への搭載を実現しています。

当社は 2021 年から LNG やアンモニアなどの新燃料を使用した船用エンジンの排ガス処理に向けた触媒開発も進めており、船用 SCR システムや触媒の提供を通じ、気候変動対策および持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

(終)